

東金市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 【解説】

国では、人口減少・超高齢化という日本が直面する大きな課題に対し、地域がそれぞれの特色を活かし、持続可能な社会を創生するため、平成26年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

●東金市では、このような国の方針を受けて

- ⇒・市民が安全安心に暮らし、子どもを生き育てられる社会環境の整備、地域に雇用を創出することで、「しごと」が「ひと」を、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を作り出し、「まち」に活力を取り戻すことで、人口減少に歯止めをかけることを目的に、地方版総合戦略として「東金市まち・ひと・しごと総合戦略」を平成27年度に策定しました。
- ⇒・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、市の最上位計画である総合計画における、まち・ひと・しごと創生に資する施策や事業(総合戦略事業)からなり、それらについて戦略独自の指標として「重要業績評価指標(KPI)」などを設定した中で、推進するものです。
- ・前総合戦略は、個別計画として策定しましたが、令和3年3月策定の《第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「まち」に活力を取り戻し、人口減少に歯止めをかけることを目的に、市のまちづくりの方向性と戦略の方針や、事業計画との連携を図っていく必要があるため、第4次総合計画の策定に合わせ、基本計画において示しました》

●総合戦略については、総合計画に掲げた目指すべき市の将来像である「豊かな自然と伝統を守り 未来へ続くMy City 東金」の実現に向け

- ⇒・国が掲げる総合戦略の基本目標や、地域の特色を活かした中で、げんきづくり、みらいづくり、まちづくり、しごとづくり、きずなづくりの5つの基本目標(柱)からアプローチを行うこととし、《達成するためには何をすれば良いのか》といったことについて具体的な数値目標等をもって、整理等をしたものです。
- ⇒・言葉だけでは、目標への進捗状況や施策の達成度が分かりにくいいため、数値目標を設定し、それらの数値がどう推移していくのかについて把握し、整理等を行うこととしています。
- ・また、進捗管理の一環として、総合計画審議会の委員の皆様から、戦略の実績に対する御評価、御意見や御提案等をいただいております。